

- 2 面 第 38 回全国都市緑化くまもとフェア開催へ 熊本県支部 木上 善貴
- 3 面 【学会の目・眼・芽】新しい言葉を使うからには新しい意義を！
(公社) 日本造園学会理事、千葉大学大学院園芸学研究院准教授 木下 剛
日造協 50 周年に寄せて 日造協に助けられ続けた造園人生
(一社) 日本造園建設業協会副会長 木上 正貢
- 4 面 【ふるさと自慢】新しい魅力と古くからの歴史 さらに進化した熊本
熊本県支部 米岡伸一郎 (株東武園緑化)
- 【緑 滴】音楽とともに♪
新潟県支部 高橋 優子 (グリーン産業(株))

お陰様で (一社) 日本造園建設業協会は 2021 年 11 月に創立 50 周年を迎えました。記念行事は 2022 年の総会を中心に実施予定です。



造園競技参加選手で記念撮影

第 59 回技能五輪全国大会が、11 月 17 日～20 日に東京都で開催された。42 職種で競技が行われ全国から約 1,000 名の選手が参加。造園競技には 23 名が参加し、18～19 日の 2 日間かけ木場公園において実施された。

今回は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場への入場は選手・関係者等のみとし、競技や開・閉会式の様子は動画配信となった。

本大会は、国内の青年技能者（原則 23 歳以下）を対象に、技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、技能の重要性や必要性を広く一般にもアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的として毎年実施している大会で、造園競技の実施には日造協と

(一社) 日本造園組合連合会が協力し実施している。

競技課題は、3. 5 × 2. 5 m の区画に石積、小舗石の敷設、敷石などの石作業、竹や角材を使用した塀の木工作业、芝張り、植栽等であり、樹木や石に関する深い知識と空間構成のデザインセンス、それらを表現する施工能力や体力まで、さまざまな要素が必要とされ、10 時間の競技時間内に作庭を完成させなければならない。

当日は晴天に恵まれたものの冷たい風が吹く中、出場した選手は皆、大会に向け放課後や仕事後に重ねた練習の成果を発揮していた。

結果、指定された寸法や高さの確保、出来栄え、工具の取り扱いや安全作業などを採点し、接戦のなか埼玉県の田子雅也氏（ものづくり大学）が金賞を受賞した。

休憩時や競技後に選手同士や指導者との交流もあり、将来造園界を担う若手の育成にもつながるこの大会を、今後も業界として盛り上げていく必要性を感じた。

技術委員会
技能五輪等部会長
坂元博明



金賞を受賞した田子雅也氏（埼玉県、ものづくり大学）の作品



都立木場公園を会場に行われた造園競技の様子（東京都江東区）

樹林

(一社) 日本造園建設業協会理事

(株) 柳島寿々喜園 代表取締役 鈴木 義人



「造園工」と労務単価

建設業界では、担い手確保のため建設技能者の処遇改善が大きなテーマとなっており、造園業界についても例外ではありません。

造園工の労務単価について、一つの目安となっている公共事業設計労務単価をみると、東京都では令和 3 年 3 月から適用された「造園工」と「普通作業員」の労務単価が同額で、前年の令和 2 年 3 月の労務単価は「造園工」が「普通作業員」よりも低い状況でした。

公共工事設計労務単価の「普通作業員」の定義・作業内容をみると

- ① 普通の技能及び肉体的条件を有し、主として次に掲げる作業を行うもの
 - a. 人力による土砂等の掘削、積込み、運搬、敷均し等
 - b. 人力による資材等の積込み、運搬、片付け等
 - d. 人力による芝はり作業（公園等の苑地を築造する工事における芝はり作業についての主体的業務を行うものを除く）
 - e. 人力による除草…（など一部抜粋）

「造園工」の定義・作業内容をみると造園工事について相当程度の技能を有し、主として次に掲げる作業について主体的業務を行うもの

- ① 樹木の植栽または維持管理
- ② 公園、庭園、緑地等の苑地を築造する工事における次の作業
 - a. 芝等の地被類の植付け
 - b. 景石の据付け
 - c. 地ごしらえ…（など一部抜粋）

読み解くと「普通作業員」とは、心身健康で指揮命令下建設現場で働くことができる人、資格は不問です。

しかし「造園工」の樹木の植栽は、樹木の特徴・特性、植栽地の土壌の特徴・緑化資材等のさまざまな知識やそれを可能にするための技術が必要です。

維持管理するには、樹木や植栽地に合わせた剪定技術・技法、肥料や病虫害、薬剤の知識、厳しい安全衛生管理の知識や法律が改定されるたびに必要

となる資格、それに合わせたさまざまな道具など、数え上げたらきりがなくかなりの知識が必要になってきます。

このように「造園工」と「普通作業員」には大きな違いがあります。そこで、専門的な知識と技術・技能を有する「造園工」が「普通作業員」と同等もしくはそれより低い単価になっているのかを考えてみました。

建築工事、土木工事には、建築工・土木工という区分はなく、「普通作業員」「軽作業員」や各職種の熟練した技術を習得している「職工」です。

造園は、これらが一括りで「造園工」と思いがちなので、紛らわしいのです。

労務費調査の「造園工」は説明にもあるように「相当程度の技能」を有し、主として造園作業について「主体的業務を行う」者であり、造園技能士や造園施工管理技士また造園基幹技能者や樹木医などの、何らかの造園に関して資格、技能を有する者が「造園工」だと私は思います。

そこで改めて関係者に広く周知して頂きたいのは、公共工事設計労務単価の調査対象工事に選ばれた際には、正しく「造園工」の意味を判断して、調査に協力して頂きたいと思います。

造園工事や造園維持の仕事に携わり、その中で植栽や芝・地被類の植付け、剪定、清掃などを行っているから「造園工」と申告するのではなく、本当の意味での「造園工」とは何かということを考えて下さい。

「普通作業員」でも芝はり・除草、「軽作業員」でも草むしり・散水はできます。多工種を施工することができる「造園工」はスーパー特殊作業員なのかもしれません。

造園業に入職してくれる人たちのためにも、「造園工」について、私たちが真剣に考えることが義務であり、必須であると考えております。

建設業年度末労働災害防止 強調月間 3 月 1 日～31 日

完工時期を迎える工事が増加し、さまざまな作業が輻輳する年度末に注意を促し、無事故・無災害で新年度を迎えるため、建設業労働災害防止協会の主唱、厚生労働省・国土交通省の後援で、3 月 1 日～31 日を「建設業年度末労働災害防止強調月間」とし、各企業及び現場の実情に即した年度末の安全衛生実施計画を作成するなど、積極的な労働災害防止活動の実施が求められている。

詳細は建設業労働災害防止協会のホームページをご覧ください。



第 38 回全国都市緑化くまもとフェア開催へ

森と水の都くまもとで花と生きる幸せをつむごう

(一社) 日本造園建設業協会 熊本県支部 木上 善貴 (木上梅香園(株) 代表取締役)

1. 開催概要

「第 38 回全国都市緑化くまもとフェア ～くまもと花とみどりの博覧会 THE GREEN VISION 未来への伝言～」が令和 4 年 3 月 19 日～令和 4 年 5 月 22 日の日程で開催されます。

第 4 回(昭和 61 年)以来 36 年ぶり 2 回目の開催となります。

2. 誘致決定まで

平成 10 年頃から全国的に造園工事業は、毎年労務単価が下がり、受注高も減少し、ついに平成 22 年にはどん底になり、先が見えない状況の中、熊本も同じように厳しい状態でした。

当時 30～50 代の有志が集まり、熊本の造園業の発注量増加を目指し、色々な提案を行い、それを仕事に結びつけることを目的としたチームを作りました。

その中で全国都市緑化フェアの誘致の声が上がり、ちょうど平成 26 年に熊本市長選があり、現市長である大西一史氏が出馬を表明されており、熊本の都市緑化意識の高揚の為に、熊本市へ誘致を造園業界と一緒にしていただくことになりました。

3. 開催決定まで

誘致活動の最中、平成 28 年 4 月に熊本地震が発生しました。

熊本市でも家屋の倒壊や土砂崩れでお亡くなりになられた方々や、ライフラインの被害等で大勢の方が、避難所生活を余儀なくされている状況でした。

さまざまなイベントが自粛され、誘致中断が危ぶまれましたが、平成 30 年に基本構想検討委員会が設立され、会長に熊本県出身で東京農業大学名誉教授の蓑茂壽太郎先生に就任していただきました。

開催の基本理念の一つに、全国から多くのご支援を賜ったことに対して、「震災からの力強い復興と多くの支援に対する感謝のメッセージを全国へ発信していく」ことを掲げ、平成 31 年 3 月に開催が正式決定しました。

4. 開催までの準備

緑化フェアの主催地行政の準備は、基本構想検討委員会が誘致、実行委員会が基本・実施計画策定や開催準備・会場整備を行い、日造協熊本県支部も熊本市造園建設業協会(以下市造協)と共に実行委員会に参画し、さまざまな活動協力を行いました。

まず市造協を中心に緑化フェアプロジェクトチームを立ち上げ、実行委員会との窓口を 1 つにし、開催に向けた提案・見積り・試験施工等をスムーズに行うことにより、基本計画策定から 2 年半という短い時間での準備が実現できました。

5. くまもとフェアの見所

開催テーマは「森と水の都くまもとで花と生きる幸せをつむごう」で、熊本市内のメイン会場として「街なかエリア」「水辺エリア」「まち山(立田)エリア」の 3 エリア、熊本県内すべての市町村をパートナー会場「オールくまもと」によるおもてなしと位置づけて、熊本地震、そして令和元年 7 月の豪雨災害等、度重なる自然災害からの再生と復興支援への感謝のメッセージ、そして元気を熊本から発信します。

総括アドバイザーとして、蓑茂先生が就任し、また、熊本県営業部長兼しあわせ部長の「くまモン」がイメージキャラクターに就任しました。

(1) 「街なかエリア」

フラワーアンバサダーとして、世界を舞台に活躍するフラワーアーティストであるニコライ・バードマン氏が就任し、熊本のシンボル・熊本城を背景に、代表作であるフラワーボックスを歩行者天国に再現し熊本県産の花が咲き誇ります。

(2) 「水辺エリア」

前回のメイン会場であった熊本市動植物園もフェアを機に植物ゾーンが 35 年ぶりに全面リニューアルが行われ、湖畔には展望デッキが登場し、企業出展花壇、



貴重な自然と歴史・文化が一体化した「まち山(立田)エリア」のイメージ

県内農業高校が参加する出展花壇、動植物園入口電停前から動植物園正門までは、近隣小学校や支援学校の生徒たちによる動物プランターのかわいいおもてなしで演出されます。

今年完成 350 年を迎えた水前寺成趣園をはじめ、1 日約 40 万トンの湧水量を誇る江津湖など、市街地にありながら、水と緑に抱かれた癒しのスポットとして楽しめます。

(3) 「まち山(立田)エリア」

標高 152m の立田山は、市街地よりわずか 4km に残された貴重な緑で、熊本藩主・細川家の菩提寺「泰勝寺」跡は、国指定史跡に指定され、宮本武蔵の供養塔といわれる五輪塔があり、自然と歴史・文化が一体化した魅力的なエリアです。

(4) 「オールくまもと」によるおもてなし くまもと花とみどり、食のツーリズムや 45 市町村のパートナー会場を巡るスタンプラリー等を実施し、熊本県内各地の隠れた地域資源や歴史・文化・音楽・食をテーマとした「熊本の魅力」を再発

見していただけるようなプログラムを展開予定です。

6. フェア会場でお待ちしています

前回の緑化フェアから 36 年の月日がたっており、フェアそのもののあり方も前回とは大きく異なっており、今回は市造協の 30～50 代を中心に準備を進めてまいりました。

前回は知らない世代も多く、私も当時は小学校 6 年生でフェア会場のパビリオン等を見て回った記憶がある程度でしたが、戸惑いながらもここまで漕ぎ着けることができました。多くの方々に助言やアドバイスをいただき、感謝申し上げます。

特に第 37 回ひろしまフェア、第 35 回やまぐちフェアの視察では、準備から施工中の苦労話等をお聞きすることができました。改めて感謝申し上げます。日造協の地域リーダーでの人脈の大事さが身に染みました。

4 月 25～27 日に技術フォーラム・みどりの集い・フェア視察があります。「オールくまもと」によるおもてなしでお待ちしております。



街なか花壇などが設置され、熊本県産の花が咲き誇る「街なかエリア」のイメージ



熊本の水の恵みを象徴する水前寺江津湖公園と動植物園の「水辺エリア」のイメージ

都市公園緑地対策特別委、都市公園緑地等整備促進議連合同会議に参加

自由民主党都市公園緑地対策特別委員会、都市公園緑地等整備促進議員連盟の合同会議が 1 月 19 日に開催され、日造協の和田新也会長、寺石隆一(一社)日本造園組合連合会副理事長、内田裕郎(一社)日本公園施設業協会会長が出席し、あいさつを行った。

会議では、国土交通省より、最近の都

市公園緑地政策と 2027 国際園芸博覧会について今国会に提出される「令和 9 年に開催される国際園芸博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律案」について説明があった。

この法律の成立後には、国からの博覧会の準備及び運営のための資金面や人材面での支援が見込まれることとなる。



あいさつする和田新也会長

学会の目・眼・芽 第124回

新しい言葉を使うからには新しい意義を！

(公社)日本造園学会理事、千葉大学大学院園芸学研究院准教授 木下 剛

造園学会にグリーンインフラ研究推進委員会を立ち上げて3年が経った。

そこで展開された闊達な議論を通して見えてきたことは、造園にとってグリーンインフラは決して新しい概念ではないが、それが向き合っている社会課題（例えば気候危機や人口減少等）が決定的に新しく、従ってその解決には当然新しい考え方が必要、ということである。

ではその新しい考え方とはどのようなことか。委員会での議論を踏まえ、2点ほど私見を述べてみたい。

◆

まず一つには、あらゆるランドス

ケープ（建築やインフラはもちろん、おおよそ人為が及ぶすべての土地・空間を含む広い意味でのランドスケープ）に自然のプロセス（イアン・マクハーグ）を確保していく努力を怠るべきではないということである。

といってもこのことは、いわゆる自然再生や自然環境の保護を一義的に意味するのではなく、基本的には機能や性能の問題である。

従ってそれは、都市か農村かを問わず、人工空間か自然空間かを問わず、保全か創出かを問わず、利用か保護かを問わず、あらゆる土地利用や敷地を対象として取り組むことが可能である。

またそれを、いかに手間を掛けず、お金を掛けずに実現できるかが問われる。というか、できるだけ手間やお金をかけずにすむように自然のプロセスに頼るという考え方が必要であろう。

自然はお金がかかるという、これまでの通念とは真逆の考え方である。そういう技術の開発が造園に求められており、これは勝れて設計・管理の問題である。

◆

もう一つは、他のインフラ（多くの場合土木インフラ）が発揮する機能（例えば雨水貯留や水質浄化、交通等の機能）にも積極的に向き合い、他のインフラができないやり方でそれを提供するということである。

これはグリーンインフラを、公園緑地の垣根を超えて、他のインフラのシ

ステムにも組み込むということの意味する。

そこでは、他のインフラと同様、厳密な性能評価、安全性評価が求められるだけでなく、費用対効果も厳しく比較される。言い換えるなら、グリーンインフラの必要性や有効性は、他のインフラも含めた相対評価の中で決まってくる。

社会課題に対して、個別解の最適化（タテワリ）ではなく、全体の最適化を志向するこうしたアプローチは、造園に限らずどの分野でも積極的に研究されてこなかったもので、これも新しい取り組みとなる。とはいえ、造園は本質的に、全体の最適化を得意とする技術のはずである。



日造協 50 周年に寄せて

(一社)日本造園建設業協会副会長 木上 正貢

日造協に助けられ続けた造園人生

私は日造協が発足した前年の昭和45年に入社し造園業に身を置いてきましたが、ずっと日造協に助けられ続けた造園人生だったと思っています。

◆

当初は個人宅の庭園づくりが主な業務でしたが、当時も今も日本の伝統に現代感覚を盛り込む設計を心がけるようにしています。

その後少しずつ公共工事の比率も増え、緑化による環境整備事業にも意欲的に取り組んできました。

そのような状況の中、経営基盤の強化や造園建設業の技術・技能の向上など困難な工事の完成に必要な数々のこ

とを日造協から学び、また日造協への信頼と高い評価の恩恵を受けてきました。

◆

私は常々、人の住む場所に緑は欠かせないと思っています。

都市の緑化は生活に潤いや安心感を与え、緑と健康は大きく繋がっているからこそ少しでも多くの緑を増やしたいと願い、日々活動してきました。

昭和16年に生を受け、昭和28年6月26日の西日本水害・結核による長期入院・自宅火災・2度の顔面神経麻痺・胆石手術、その上あの熊本地震と変化に富んだ81年間でしたが、生命の危



機にはならず何とか生き長らえてきました。

家業が造園業だった縁でこの世界に足を踏み入れましたが、時代が変わっても土と水と緑なくして人間は生きてはいけないという気持ちは日々強くなってきています。

◆

今年の3月から全国都市緑化フェアが36年ぶりに熊本で開催されます。緑豊かなまちづくりのために県下の会員が一丸となって頑張っています。

造園業は建設業で唯一、樹木や草花などの「生き物」を扱う職業です。この技術力を一般の方にアピールし、理解してもらうチャンスでもあります。

とりわけ造園業をとりまく現状は年々厳しくなっていますが、我々の仕事は完成がはっきりと目に見え、作り上げたものを喜んでもらえる素晴

らしいものなのです。

ぜひ若い世代にこの造園の世界の素晴らしさを感じてもらえる機会にもなれば良いと考えています。

◆

最後に今や日造協は我々造園業者にとって当たり前のような存在になっていると思いますが、一からまた作るとしたら膨大な費用と時間が掛かることは間違いのないでしょう。

樹木の育成は植栽基盤が大事で土壌が良くないと育成も悪いのと同様に、造園業者にとっての土壌である日造協の繁栄なくして我々の未来も明るくはないでしょう。

日造協会員の皆様の日頃からのご協力に感謝申し上げます。

今後とも日造協の更なる発展のために微力ながら尽力していきたいと思っています。

フルハーネス型墜落制止用器具着用 1月2日から完全施行 早めの予約・購入を！

2022年1月2日から墜落制止用器具の使用が完全施行となった。

2018年に公布され、2019年2月1日より施行された労働安全衛生規則の改正により、フルハーネス型墜落制止用器具の着用が原則とされた。

従来の安全帯が使用可能であった3年間の猶予期間は2021年末に終了し、今年の1月2日から完全施行となり、従来の構造規格に基づく安全帯はすでに使用することができなくなった。

また、高さが2m以上の箇所、作業床を設けることが困難なところで、フルハーネス型墜落制止用具を用いた作業を行う者は、特別教育の受講が必要となっている（安衛則第36条、特別教育規定第24条）ことも、すでにご案内のとおりである。

日造協では、2018年の法令改正を受けて、即座に本紙やメールニュース、会議など多くの機会に会員への周知を図

り、造園の作業実態に合わせた特別教育も実施し、すでに多くの会員企業に所属する方々が受講されている。

造園用フルハーネス

造園の作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具（造園用フルハーネス）は、フルハーネス型と胴ベルト型に適合しているとともに、樹上での作業姿勢を安定させるワークポジショニング作業やロープ高所作業にも対応したものとなっていて、安全で快適な作業環境を提供するものである。

通常の建築現場などで使用されているフルハーネス型墜落制止用器具に比べて、重量は軽く、胴の左右と腹部・胸部にD環があり、身体に合わせやすい調整ベルトや柔らかい保護パッド、道具を吊るためのフープなども装備されており、造園の多様な作業環境や作業方法に最適なものとなっている。

このような優れた造園用フルハーネス

であるが、残念なことに新型コロナ感染拡大の影響による製品調達の遅延や物流の停滞などにより、すぐに発注しても納期は相当先になるとのことである。

安全で快適な造園の作業環境を確保するためにも、できるだけ早く注文することをお勧めする。

【参考 URL】厚生労働省発行

・「安全帯が墜落制止用器具に変わります」（リーフレット）<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000473567.pdf>

・墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン <https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11302000-Roudoukijunkyokuazenseiseibu-Anzenka/0000212917.pdf>

・墜落制止用器具に係る質疑応答集（令和元年8月28日更新）<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000540770.pdf>

・墜落制止用器具の規格 https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dat



造園用ハーネスの一例

ald=74ab6770&dataType=0&pageNo=1

【造園用フルハーネスの販売】

日造協の安全部会で企画した「造園用フルハーネス」を、協会会員である群馬庚申園（株）様から会員の皆様へ特別価格で提供しております。

1～3月は在庫が品薄のため納品に時間を要しますので、お早めにご予約・ご注文下さい。購入ご希望の方は下記のURLでお申し込み下さい。

<http://shop.kousinen.com/>

ハイパワー バッテリーソー、好評発売中。

都市の樹木管理に最適

コンパクトボディで 40cc相当のパワー

トップハンドルソー
T540iXP®
74,800円(税込)

リアハンドルソー
540iXP®
75,900円(税込)

■質量: 2.5kg / 2.9kg (バッテリー&バーチェーン除く) ■バー: 14" X-FORCE / 16" X-FORCE ■チェーン: X-CUT SP2IG ピクセル .325" ミニ U mm

バッテリー (5.2 Ah, 1.3 kg) **BLi200X 27,280円(税込)** 急速充電器 **QC330 17,820円(税込)**

アーボリスト アクセサリ

ロープバッグ
6,380円(税込)

■容量: 28ℓ
1/2インチロープ
250フィート(約73m) 収納可能

スローライン
5,280円(税込)

■長さ: 180フィート
(約55m / 直径1.75mm)
■素材: ダイニーマ

スローラインキューブ
7,480円(税込)

■サイズ: 40cm×40cm×40cm
■折りたたみ時:
約25cm×40cmの三角形

スローウエイト
2,860円(税込)

■重さ: 14オンス(397g)
12オンス(340g)
10オンス(284g)
8オンス(227g)

Tシャツテクニカル ハイビズ 5,940円(税込)
■サイズ: S / M / L / XL
[EN ISO 20471, クラス2]

プロテクティブズボン T-EX アーボ 47,300円(税込)
■サイズ: S / M / L / XL
[EN381, クラス1]

●製品の価格・デザイン・仕様は予告なく変更されることがあります。価格は2022年1月現在のものです。

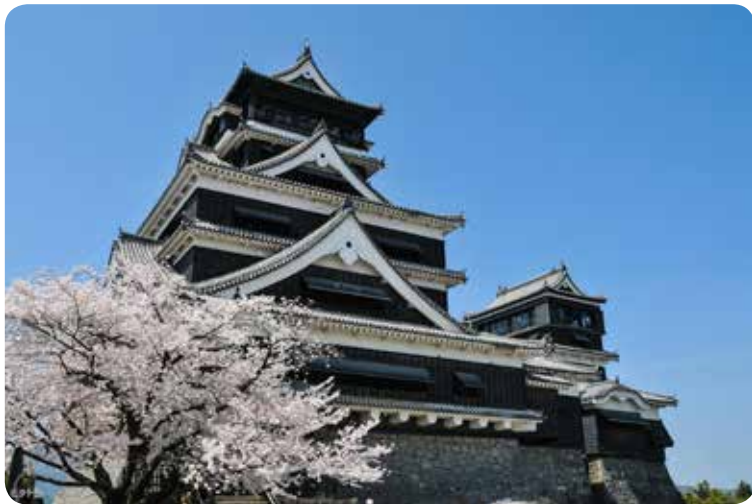
お問い合わせはお近くの販売店まで!

ハスクバーナ・ゼノア株式会社
〒350-1165 埼玉県越市南台1-9
✉ info.hv@husqvarna.jp
ハスクバーナHP www.husqvarna.com/jp/
ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

ハスクバーナWEBサイトはこちら!

熊本県
ふるさと自慢

新しい魅力と古くからの歴史 さらに進化した熊本



復旧も大方完了した熊本城

熊本地震から丸5年が経過し、4月14日で6年が経過します。いっどこで起こると限らない自然災害に対しての向き合い方についても5年前とは比較にならないほど、社会の意識も変化してきていると思います。

復興が進みインフラ整備や歴史文化財等の復旧も大方完了し

ました。

新しい熊本の魅力と古くから培われてきた歴史が融合し、以前よりもさらに進化した熊本に生まれ変わりました。

そうして今年はこの熊本で3月19日より全国都市緑化フェアが開催されます。



④阿蘇の雄大な自然と⑤黒川温泉

この緑化フェアの時期に熊本を楽しむポイントをご紹介します。

まずは熊本といえば世界に誇る阿蘇と日本三名城の一つでもある熊本城でしょう。

阿蘇の雄大な自然を見ながらのドライブに加えカフェ巡りをおすすめします。地震で甚大な被害があったものの今では北側復旧ルートも開通し阿蘇までの所要時間も大幅に改善されました。

阿蘇のスイーツはお取り寄せも人気でプリンやチーズケーキ等おすすめです。

また、阿蘇では黒川温泉が全国は有名ですが、実は熊本県内にはいろんな温泉がたくさんあります。



花博会場から足を延ばせば天草にも



熊本のグルメ

熊本ラーメン、赤牛丼、海鮮丼、プリン

花博3会場をゆっくり見ていただくには移動時間も含めると丸一日以上かかります。

花博まち山エリアでは阿蘇へ、街なかエリアと水辺エリアでは熊本城観光がアクセスもよくおすすめです。

さらに足を延ばせば天草で海の幸も楽しめます。海があり山もあり水も緑もきれいな熊本でお待ちしております。

米岡伸一郎(熊本県支部 株東武園緑化)



音楽とともに♪

ピアノを教えていた母の影響もあり、小さい時から音楽が大好きでした。

運動神経は母のお腹の中に落としてきたようで(笑)、スポーツは人の苦手。子どもの頃からピアノを習ったり、中学・高校は吹奏楽部、大学ではオーケストラ部に入り、ずっと音楽漬けでした。

社会人になってからは仕事で忙しく、なんとか細々と続けていたのですが、新潟へのUターン転職を機に時間の余裕もでき、地元のアマチュアオーケストラに入団。

アマチュアとはいえ歴史のある楽団で、年に3回の演奏会があり、なんと練習は平日の夜。慣れるまでは大変でしたが「今日は練習だから早く帰る!」と仕事に集中できたり、仕事以外の楽しみや繋がりが出来て私の生活には欠かせないものになりました。

メンバーもバラエティー豊かで、大学教授や経営者、医者、公務員などいれば、学生もいたり。音楽好きという共通点があるの



商店街のアーケード内で演奏した時の様子



コンサートホールでの演奏会

で、年齢や性別の差も感じず楽しく活動しています。

入団して何年か経ってからは、別の演奏活動にも声を掛けてもらうようになり、ジャズ、アニメやゲーム音楽(普段やらないので全然曲を知らないのですが…)にチャレンジしてみたりもしました。

コロナ禍で、演奏や演奏会後のおいしいビール!の機会は減ってしまいましたが、改めて音楽ができることの楽しさに気づくきっかけになりました。

これから先も No music, No life !

24(月)・造園CPD推進委員会企画会議
26(水)・造園フェスティバル推進部会
27(木)・登録造園基幹技能者講習(東京)～28(金)

【2月】
1(火)・財政・運営部会
・広報活動部会
2(水)・造園・環境緑化産業振興会講演会
3(木)・運営会議

4(金)・街路樹剪定士制度部会
・造園技術フォーラム部会
10(木)・登録造園基幹技能者講習委員会(試験委員会)
11(金)・第48回全国造園デザインコンクール表彰式
14(月)・関東地方整備局との意見交換会
15(火)・登録造園基幹技能者講習委員会
17(水)・街路樹剪定士指導員研修会&スキルアップ研修会～18(金)・
25(金)・資格制度委員会
28(月)・「50周年記念誌」編集会議

【3月】
1(火)・広報活動部会
3(木)・女性活躍推進部会
7(月)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
9(水)・街路樹剪定士認定委員会(試験部会)
17(水)・街路樹剪定士認定委員会
19(金)・全国都市緑化くもまフェア～5/22
23(水)・運営会議
24(木)・総支部長等会議(中止)
・第2回通常理事会(書面決議)

委員会等の活動

●安全部会【協会会議室&web】
12/3 日造協推薦「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」の普及状況と今後の供給、「ロープ高所作業・フルハーネス 特別教育」の講師派遣などについて審議
●広報活動部会【協会会議室】
12/7 日造協ニュース2～5月号の内容及び令和4年記事構成及び執筆者構成について審議
●街路樹剪定士認定委員会(試験部会)【協会会議室&Web】
12/8 認定試験の実施(10～11月開催分まで)の開催概要、合否判定、2021年度街路樹剪定士指導員研修会等の開催、学科試験の合否判定及び実技試験の実施方法について審議
●女性活躍推進部会出前講座等チーム小会議【web】
12/9 今後の高等学校出前講座について審議
●植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)【協会会議室&Web】
12/9 実地試験の採点、2022年度の実施計画、年間スケジュール、試験問題の作成方針、資格制度に関する課題と対策案など審議
●植栽基盤診断士認定委員会【協会会議室&web】
12/13 認定試験(実地試験)の合否判定、2022

編集後記 新型コロナの感染状況を鑑み感染対策を行いながらwithコロナで少しずつ活動が再開されています。今号はふるさと自慢でも「熊本県」が紹介され、フェア会場と共に熊本巡りも楽しみたいと多くの方が感じているのではないのでしょうか。3月には落ち着いていることを切に願っています。

事務局の動き

【1月】
19(水)・自民党都市公園緑地対策特別委員会、都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議
・女性活躍推進部会ロールモデル小会議
20(木)・登録造園基幹技能者講習(愛媛)～21
22(土)・第48回全国造園デザインコンクール予備審査会
23(日)・全国造園デザインコンクール本審査会

優れた4WD性能

4WDでは業界初の
フロントサスペンション装備!



R9824FB▶

作業風景はこちら!

乗用型草刈機

刈馬王



R9824FB

使用最大傾斜角度 25度

刈幅 980mm

歩行型草刈機

刈馬王



RX-805B

使用最大傾斜角度 25度

刈幅 800mm

ハイブリッドラジコン草刈機

神刈 HYBRID
RAMICAR RJ700A



RJ700A

使用最大傾斜角度 45度

刈幅 700mm

諦めかけた場所で活躍!

草刈はエンジン、移動は
電動のハイブリッド仕様



RJ700A▶

作業風景はこちら!

atex

●詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.atexnet.co.jp/



全国で実演受付中!!

お気軽にお問い合わせください。

豊かさを創造し 未来へ挑戦する
株式会社アテックス

本社/〒791-8524 愛媛県松山市衣山1-2-5
TEL:(089)-924-7162(営業直通)
FAX:(089)-925-0771